

■ 林 利彦 議員 令和4年 第3回定例会 代表質問

西八千代地区(みどりが丘)小中学校等対策について

問 西八千代地区における小中学校の児童・生徒の状況は。

答 児童・生徒数のピークは、令和10年度、みどりが丘小学校55学級、新木戸小学校41学級、令和15年度に高津中学校36学級、睦中学校12学級となる見込み。一部の学校については、教室数が不足する状況になることが予想されている。(教育委員会)

問 西八千代地区小中学校等対策に係る検討は進んでいるか。

答 西八千代地区小中学校等対策検討委員会・検討部会において課題や問題点、地権者の意向などについて確認・整理・検討を行うとともに、それぞれの立場から助言、提案等をいただいている。(教育委員会)

問 検討委員会組織での議論の内容は。

答 小学校については、学校新設と学区変更、または両方の組み合わせに絞り込み、地権者の意向等考慮し、さらに検討を加える。中学校については、状況の変化を踏まえながら、引き続き調査・検討を進めていく。

(教育委員会)

要望 緑が丘地区へ小学校新設を強く要望。

救急車の出動について

問 新型コロナウイルス感染症による救急出動件数は。

答 前年同時期との比較では、陽性者 97 件、疑似症者215件、それぞれ増加している状況。(消防本部)

問 救急出動が増えたことにより、救急車が不足したことはあるか。

答 現在6台の救急車を常時運用しているが、救急要請が多発し不足する場合は、救急有資格者が乗務する消防車が先行して救急対応を行っており、本年8月末現在119件発生している。(消防本部)

マイナンバーカードについて

問 健康保険証として市内で利用できる医療機関は。

答 医療機関及び薬局などの施設は 72 件、内訳は診療所及び病院が 14 件、歯科が 22 件、薬局が 36 件。

要望 市民が利用できる医療機関等を増やす為に市でカードリーダーの設置に協力すべき。

■ 辰己 百恵 議員 令和4年 第3回定例会 個別質問

学校給食について

問 東・西八千代調理場と合わせて最大の処理能力は。

答 一日最大17,000食、食物アレルギー対応食は、320食提供可能。

(教育委員会)

問 食物アレルギーをもつ児童生徒への対応は。

答 両調理場とも、特定原材料7品目を除去した食物アレルギー対応食

を提供。基本食の調理スペースと厳密に区分けされた専用の調理室で、

アレルゲンの混入を防いでいる。保護者と面接等を行い、提供の可否を

決定。(教育委員会)

問 災害時における対応は。

答 プロパンガス対応の移動式かまど釜等で調理可能。米、水、食器等を

備えている。(教育委員会)

通学支援バスについて

問 緑が丘西地域は。

答 緑が丘西地区に、建設中の大型マンションの学区が、西高津小学校

として決定。通学路の安全の為に、路線バス・通学支援バスの利用等を

検討する。(教育委員会)

中学校の部活動について

問 国・県市の動きは。

答 国は「令和5年度以降、休日の部活動の段階的な地域移行を図るとともに、休日の部活動指導を望まない教師が休日の部活動に従事しないこととする」としている。千葉県は「地域運動部活動推進モデル事業」として、実践研究を行っている。八千代市では「八千代市学校部活動あり方検討会」を組織している。(教育委員会)

問 八千代市の今後の取り組みは。

答 国で示されている、令和九年度から休日の部活動の地域移行完全実施に向けて、段階的に取り組みたい。

「部活動指導員等」の配置を積極的にすすめ、課題を明確にし、教職員、生徒、保護者等、地域のニーズの把握に努める。(教育委員会)

要望 地域移行の為には、地域人材・受け入れ先の確保、経費、活動場所、大会への対応等、休日の指導を希望する教師の為に兼職兼業の許可等の考えるべき問題がたくさんある。予算の確保、学校との連携を進めていっていただきたい。